

福永重春さん

大 小のしめ縄を巧みに結んだ舟型に、3つの俵を乗せた「宝舟」。縁起物の飾り物として、多くの引合いがあるといわれています。

藪池の福永重春さん(79)は、5年ほど前から製作しています。

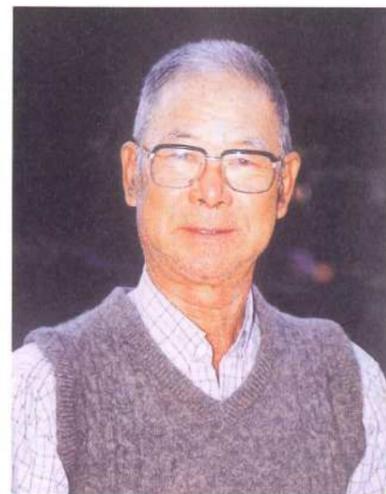
「2年ほど前に亡くなられた梶山の鈴木兼雄さんの作品に魅かれて作ろうと思いましたが、試行錯誤の末、なんとか自分なりに納得できる作品に仕上げられるようになりました」。

製作には、かなりの苦勞があるようです。成人男性の腕回りほどもあるしめ縄を編み込むには、かなりの力を必要とします。また、舟型に仕上げたり、小さな俵や帆を作つ

たりする極め細かな作業は、根気と高度な技術を要します。「一つの作品を仕上げるには、2日ほどかかりますね。趣味でやっていますので、注文も年間に15個ほどしか受けられません。時間と手間暇を考えると、採算はまったくありません。喜んでくれる人がいれば、それだけで十分なのです」。

重春さんの作品は、それだけではありません。稲わらを編み込んだ鶴と亀の飾り、荷造りなどで用いる固いビニール製のひもを編ん

だ装飾品、竹製の籠やざる、いろりの上からつるす自在かぎ、不用になったチラシを折り合わせて組み立てた鶴や風車の飾りなど様々です。それらの作品は、自宅に所狭しと並べられ、玄関を入るとその数に圧倒させられます。「旅行の時など、土産物屋に陳列された飾り物で、手作りの物を見ると作ってみようという気持ちになります。写真を撮ったり、買ったりして、その構造をじっくり研究します。買って来た物は、分解して組み立て方を考えます。その過程がとても楽しいですね。ボケ防止には、もってこいですよ」。



11月28日、藪池地域恒例の文化祭が開かれ、重春さんは今までも増して多くの作品を手がけ、出展しました。「これからも挑戦すること忘れずに楽しみながら製作したいと思います」。重春さんの挑戦と創作意欲はこれからも続きます。



茶じよけ

先日、洗面台の鏡の前に立ち、ふと頭に目をやると、1本だけ目立つ白髪があった。なかなか抜くことができなかったため、娘に「これを抜いてくれ」と頼むと、「どこにあるの?」と不思議そうな顔で、私の髪をかき分けた。すると突然、「お父さん、たくさんあるよ。それを抜けばいいの」と驚きの表情で言った。「うそだろ」と、しっかりと見ると、確かに娘の言うとおりだ。抜くことをあきらめ、「もう、そんな年になつたのだなあ」と思う一瞬であった。▼先日開かれた「ふるさとまつり」は、過去最高の入出を記録し、大変な賑わいを見せた。その理由の一つとして、地元素材をいかした数々の企画が挙げられる。特に、子どもの活躍が目立った。小学生による郷土芸能披露、小・中・高校生による人間早馬競争、三股西小学校の児童によるごみ拾いなど、教え上げれば切りがない。以前、「最近の祭は、昔と比べると寂しくなった」と聞いたことがあるが、その鍵を握るのは「子ども」ではないだろうか。

興味をもつことから
創作意欲がわきます



ゴ〜ルは、も少しだよ!

第9回ふるさとまつりの人間早馬競争。宮村小学校3年生のチームは、小さいながらも頑張った。

1999
DECEMBER

12
月号

No.352

広報

みまた



文化の日

13人と2団体を表彰 平成11年度町表彰式

町は、11月3日、平成11年度町表彰式を役場大会議室で開き、元三股町議会議長、有村三千男さんと2団体を表彰しました。式は、各分野で本町の発展に貢献した人や町民の模範となる善行をした人を顕彰するために、毎年「文化の日」に行っているものです。受賞者の功績を紹介します。



受賞された方

行政特別功労賞

町議会運営に敏腕24年



有村三千男さん(74)

昭和50年5月、三股町議会議員になって以来、6期24年連続当選し、本町の産業、教育、文化、福祉の向上に積極的に取り組んでこられました。

中でも、昭和62年5月から平成元年4月までの2年間、同議会議長を務められ、議会の円滑な運営に力を注がれるなど、本町の地方自治の発展伸張に大きく寄与されました。

功労賞

【行政部門】

町議会議員として3期12年



吉田 浩さん(73)

昭和46年5月から同54年4月まで、及び平成7年5月から同11年4月までの通算3期12年、三股町議会議員として、本町の産業、教育、文化、福祉の向上に積極的に取り組んでこられました。

その間、平成9年5月から同11年4月までの2年間、同議会農林建設常任委員長を務められ、本町の農業振興に力を注がれました。

文化財の発掘、保存に力を注がれ、平成元年度に施行した町文化財の指定に尽力されました。
また、平成2年9月から同3年12月までの1年4か月、町民俗芸能編さん委員として、郷土芸能誌「三股の民俗芸能」の発刊にも携われ、本町の文化教育発展に寄与されました。

【社会部門】 社会福祉の向上に尽力



渡辺美代子さん(78)

更生保護婦人会員を32年5か月及び保護司を21年10か月、並びに民生委員・児童委員を10年務められ、青少年の保護及び健全育成等に尽力されました。

また、町地域婦人連絡協議会会長を昭和60年4月から平成4年3月までの14年間、及び町老人クラブ連合会女性部副部長を平成6年4月から同11年1月までの4年10か月務められ、明るい社会づくりにも貢献されました。

【教育部門】 文化財指定に貢献



馬渡 虎男さん(77)

昭和59年4月から平成10年11月までの14年7か月、町教育委員会の文化財保存調査委員として、町

【産業部門】 農業の振興に尽力



大脇 藤夫さん(76)

昭和53年4月から平成10年10月までの20年6か月、樺山土地改良区理事を務められ、同土地改良区の運営や農業基盤整備に積極的に取り組んでこられました。

特に、昭和63年10月から平成10年10月までの11年1か月、同理事長を務められ、組織の運営の適正化、及び財政の健全化等に力を注がれ、地域はもとより、本町の農業振興に尽力されました。

【体育部門】 剣道の指導力が高く評価



児玉 義和さん(46)

平成2年9月から同11年8月までの9年間、三股中学校剣道部の監督として指導にあたり、県大会、九州大会など上位入賞に導きまし

た。

特に、本年度は、同部(女子)を全国大会3位に入賞させるなど、その指導力は高く評価され、同剣道部の躍進に大きく寄与するとともに、青少年の健全育成、及び本町の体育の進展に尽力されました。

【体育部門】 全国大会で第3位を獲得



三股中学校剣道部(女子)

同部は、これまで数々の大会で優秀な成績を納め、輝かしい伝統を誇っています。

こうした中、同部女子においては、本年度の宮崎県中学校総合体育大会剣道競技の部の団体戦において優勝し、九州大会ではベスト8を果たすなど活躍しました。中でも、第29回全国中学校剣道

大会には、県代表として出場し、第3位という快挙を成し遂げ、同部の歴史に大きな足跡を残しました。

【技術部門】 ワープロ技能で全国1位



前村 薫さん(17)

都城高等学校のコンピュータクラブに所属し、ワープロの練習に励み、昨年度開かれた全国高等学校ワープロ競技大会では、個人の部3位、団体の部3位と好成績を納めました。

そして、昨年に引き続き、今年も九州大会、全国大会に出場し、それぞれ個人の部で優勝を果たしました。また、団体戦においても活躍し、同校を全国第2位に導きました。

善行賞

環境保全に多額の寄付

宮崎県廃家電品

適正処理協力協議会

同協議会は、廃家電品の回収と適正処理を目的に、平成7年3月、



10月21日に鎌田芳郎会長から桑畑町長に目録が渡された。

県内の家電メーカーと流通業者が一体となって組織されました。以来、自治体への協力・支援、組織の役割分担と適正処理の徹底、フロンガスの回収処理の研究、広報活動などを行っています。

その一環として、今年度、町リサイクルセンターで使用するミニパワーシヨベルの購入費用の一部530万円を寄付されました。

ボランティア公演で全国行脚



天水 藤平さん(71)
美伊子さん(66)

夫妻は、日ごろから町内外の福祉施設を慰問し、マジックとトークによるボランティア公演を行っ

ています。

中でも、平成5年9月から同7年7月、同10年7月から同11年7月までの2回、全国の福祉施設を自家用車で回り公演する「日本1周ボランティアの旅」を達成されました。

献血50回以上協力

4人は、献血の重要性を深く認識され、多年にわたって献血に率先協力されました。その回数は、50回を数えます。

この相互扶助精神は他の模範とするところであり、社会福祉の発展に大きく貢献するものです。



上段左から篠田清則さん(50)、和田善秋さん(51)
下段左から花原壽男さん(56)、菊村京子さん(65)



夜空を彩った2,000発の花火
シンセサイザーの音楽に合わせて、約2,000発の色鮮やかな花火が打ち上げられ、まつり初日は最高に盛り上がりを見せた。



▲エイサーの踊りに大興奮
宮崎産業経営大学の学生で構成する「うるま会」が、沖縄に古くから伝わる踊り「エイサー」を披露。迫力ある演出に観衆は圧倒させられた。



◀突然の訪問者に大歓声
演歌歌手の三善英治さんが突然会場に現れ、会場は騒然。舞台上、3曲の歌を披露し、大きな歓声でわいた。



有村さんに会長賞
ふるさとまつりポスターコンクールで入賞した三股小学校6年の有村友里さんら20人に表彰状と記念品が贈られた。



牛串焼1,600本に舌鼓
空き缶2個と引換券を交換。1番手は、山王原の高橋直弘くん(9)、券配布2時間前の午前7時に会場に来た。



10人が自慢の歌声を披露
町民カラオケ歌合戦には、町民10人が出演。植木の木下政美さんがグランプリに輝いた。



都城東高女子ソフト部に栄冠
人間早馬競争の一般女性の部は、大接戦の末、脚力にものを言わせた都城東高等学校女子ソフトボール部チームが優勝した。



移動県美展に約2,500人
11月9日から14日にかけて中央公民館で開かれた県立美術館移動美術展には、期間中2,567人が訪れ、名画を見入っていた。



1等賞に畑中くんと今村くん
まつりの最後に行った「お楽しみ大抽選会」は大盛況。上米の畑中裕也くん(8)と、今村慶裕くん(13)が1等賞のマウンテンバイクを獲得した。



西小ボランティア大活躍
三股西小学校ボランティアグループ「コンパニオン キッズ」は、パンフレット配布と会場内のごみ拾いを2日間にわたって行った。



まつり恒例“人間早馬競争”
今回は、小学生の部、中学生の部が設けられ大盛況。一般男性の部では、国際交流員チーム「カンガルー」が優勝を果たした。



三股風サンバパレード
町内の保育園や幼稚園、文化協会会員など14団体、約630人が参加。三股ばやしのサンババージョンの音楽にあわせて、踊りながら、給食センターから会場までの約800mを練り歩いた。



小学校3校が郷土芸能を披露
長田小学校は棒おどり、勝岡小学校は俵おどり、宮村小学校は大太鼓おどりを披露。観衆から大きな拍手が送られた。



鍋料理1,000杯を無料配布
農協婦人部や商工会婦人部など4つの団体が腕によりをかけて作った鍋料理が約1,000人に振る舞われ、長蛇の列ができた。



国際交流コーナー
県内の国際交流員ら23人が参加。来場者にそれぞれの国の紹介やペインティングを行った。



チャリティー試食会
(株)中村食肉から牛1頭丸焼きが提供され、多くの家族連れが焼き肉台を取り囲んだ。売上金はすべて、福祉団体に寄付された。

“元気な町”を アピール!

◆ふるさとまつり5万人

第9回三股町ふるさとまつりは、11月13日、14日の2日間、町レジデンパークをメイン会場に開かれ、約5万人の見物客でにぎわいました。まつりは、地場産業の発展、文化の振興を目的に、町、商工会、農協、Mの町「龍雲塾」、各種民主団体などで行う実行委員会が企画したものです。まつりの模様を写真で紹介いたします。

ジェイ 三股 ページ



◀人間早馬競争の表彰式では代表して私が表彰状をいただきました。

三股町のふるさとまつりは、本当にお疲れさまでした。2日間とも天気に恵まれ、たくさんの方が来場し最高のイベントでした。

県内から23人の国際交流員と英語指導助手も参加してくれて、みんな喜んで帰りました。13日のパレードに出たり、国際交流コーナーは、子どもたちがたくさん遊びに来ました。フェースペインティングやバスケットボール、ホッケーを楽しみました。来年のまつりでは大人のための国際旅行コーナーがあればいいなと思っています。

夜の花火もすばらしかったですね！！

また14日は、野点（お茶）があり、おもしろかったです。おかげさまで、大変有意義な国際交流事業をすることができました。国際交流コーナーに協力してくださいました皆さまに改めてお礼申し上げます。



MRT ラジオに出演 ふるさとまつりをPRしました



みまた幼稚園の芋掘りはとても楽しかった



りんどう保育園での英会話にケリンとオージも参加しました。



人間早馬競争で2回走って、とても疲れました。結果は「優勝」。みんなうれしそう！



仮装してパレードに参加 侍姿は似合いますか？

国際交流研修コアラ「オージ」が帰りました!!!



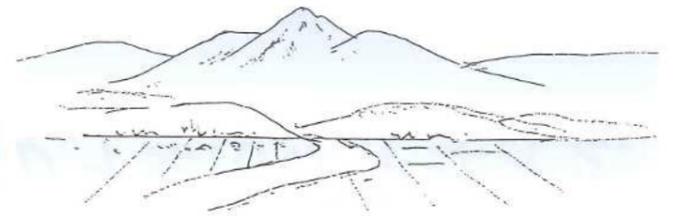
オージはたくさんの友だちをつくりました。

三股町に滞在していた間に、研修コアラが一所懸命働き、いい体験をしました。役場では、生涯学習課・学校教育課・福祉保健課・町民生活課・企画調整課・健康管理センター・国民健康保険病院などを回って、友達をたくさんつくりました。また、学校訪問と幼稚園・保育園を訪問したり、ふるさとまつりのパレードにも出たりして、とても人気ものでした。研修コアラ「オージ」は、「三股町がとても大好き」と言っていました。来年、機会がありましたらまた、研修に来るという約束をしました。

ラグビー ワールド カップのお知らせ

オーストラリアで一番人気があるスポーツはラグビーです。4年に1回しか行わないラグビーワールドカップ大会が今年開催されました。特に、決勝戦では、オーストラリアワラビーズの圧倒的強さと、そして強烈なプレーで、オーストラリアがフランスを35対12で倒し、ワールドカップラグビーチャンピオンとなりました。大会中、オーストラリアは1トライしか許さなくて、攻撃も守りも力強さが見えました。同じく今年、オーストラリアはクリケットワールドカップでも優勝することができました。サッカーのワールドカップと同じように、優勝することは大変難しいので、オーストラリアでは二重に喜んでいます。

ふるさとへの便り



原田 親夫さん

上米出身

ふるさとの皆さんお元気ですか。私は、昭和32年に三股の上米を後に、大阪の堺市に就職して、あつという間に40年が過ぎました。そのころの時代は、都会は人手が不足して、田舎の中学生をほしがっていた時代でした。三股中学校からも多くの人が京阪神に、都城駅から就職列車で働きに行った時代です。大阪駅に着くと、いろいろな会社の人が待っていました。それだけ田舎の人はまじめで、よく働くので、「金の卵」と呼ばれていた時代でした。そのころの給料は安く、何度も田舎に帰ろうと思いましたが、そんな時、ふと田舎の両親の言葉を思い出して、負けてたまるかと思いい、今日まで頑張っています。

大阪弁は分らず、外国に来ていたように感じました。よくけんかもしたもんです。

それでは、私の住んでいる堺市の現在の様子を話します。

堺市は、三股町とよく似ていて、町ぐるみで活動しています。現在の人口は、89万人くらいで、将来



は、百万都市を目ざしています。その堺市で毎年10月10日の体育の日に、堺市全体の「堺オリンピック」が行われます。三股町の町民大会と同じです。陸上、バレーボール、ソフトボール、ゲートボール、卓球などが行われます。堺市の町の数は約98町会あります。私の住んでいる町は、浅香山校区で、ソフトボール、バレーボール、ゲートボールは、毎年優勝しています。私は陸上で40メートルリ

レーに40代で4回くらい出場しました。三股の町民大会でも中学の時、樺山でよく走ったもんです。その後、すぐ「堺まつり」があります。この「堺まつり」のバレーボールが見ものです。二年前に宮崎県からもパレードに出場しました。あれはひよつとこおどりでした。その日の堺市は、あらゆる所で名産物、また有名物の刃物、自転車の部品など、いろいろな店が並び楽しい日です。

そういった堺市は、今からますます発展していくと思います。

でも、私は長い間堺市に住んでいます。田舎はいいですね。毎年一、二度は帰っています。「空 気 緑 水 人」、いいですね。特に、私の少年時代によく遊んだ上米公園、その下にある池など、考えれば切りがありません。これからは美しい町をつくり、われわれが帰っても、やっぱり三股だという三股でありたいと思います。

今年も第四回三股会が

歳末たすけあい募金

平成11年12月1～31日

歳末たすけあい募金は、各都道府県共同募金会が生活支援を必要とする人々のために行う募金です。みなさまのあたたかいご協力をお願いします。

<厚生省>



十一月二十一日に開かれます。毎回、三股町長をはじめ、いろいろな人が出席されます。楽しみですので、ふるさとへの皆さんのご健康と三股町がますます発展しますようお願い申し上げます。

(11月中旬に寄稿)

安心して楽しくを目標に

社会福祉大会に1,000人

町は、10月31日、町体育館で、第4回社会福祉大会を開催しました。大会には、福祉関係者など約200人の来賓と、約800人の町民が参加し、福祉に対する関心の高さを物語りました。

大会で、桑畑町長は、「住民の行政への参加の機会を拡大するなど、住民の意見を積極的に町行政に反映させ、心豊かな住みよい町づくりを進めたい」とあいさつ。その後、社会福祉の向上に貢献の



自立更生者として表彰される蔵元タエ子さん

「あつた団体や個人を表彰しました。社会福祉事業功労者として表彰を受けた保護司会三股支部長の小倉昭男さん(70)は、「このように光栄な賞をいただいたことは身に余る喜びです。これからも町の福祉発展のために微力ながらお役にたきたい」と謝辞を述べました。その後、民間福祉施設職員の桑畑守康さんが、「安心して楽しく暮らせる町を目指し、生きがいのある真に心豊かな地域社会づくりに取り組みます」と大会宣言文を読み上げました。



田原氏の記念講演

始、なごやかな雰囲気にも包まれていました。

- 受賞者は次の方々(敬称略)
- 【社会福祉民間奉仕者・団体】(自立更生者) 蔵元タエ子(家庭介護功労者) 去川チサ・田代義治・犬童ツル子・大村イツ子(奉仕団体) 鴻紀会
 - 【社会福祉事業功労者】(社会福祉法人または団体の役員で経歴10年以上) 中原不二男・山田豊太郎・平山和子・小倉昭男・原田タミ子・岩崎レイ・武田トキエ(社会福祉施設または団体業務に20年以上従事する職員) 永山美代子・鳥井洋子・山代朋子・瀬尾美和子(民生委員・児童委員の経歴が9年以上) 福田正義・今村貢・吉行スズ・北村勝吉・亀田廣・大坪サチ子
 - 【国民健康保険健康優良世帯】(被保険者3人以上で、療養給付等を1年間受けなかった世帯) 陣健

- 三郎・中村謙治・下窪純・西村健一(被保険者2人以上で、療養給付等を2年間受けなかった世帯) 山之内吉光・岩永正輝・園田光春・柿蘭洋巳・永吉伍一(被保険者1人以上で、療養給付等を3年間受けなかった世帯) 吉川正秋・山田清子・原口一善・小倉トキエ・木田吉家・別納キミエ・山下ヨシ子・黒木満雄・兜玉トキ・松山安美・谷口武男・山下真・中原正一・森アサ子・太崎邦治・山領ナル子・黒木ヨリ子・丸田一巨・新原榮・田口征男・中内ミエ子
- 【町老人クラブ連合会長表彰】(永年役員・クラブ育成の部) 宮本清・小山田満彌・黒坂信夫・桑畑安男・菊地藤江・渡辺美代子・橋本アヤ子・細山田齊・山下タケ
- (なたきり者等の介護の部) 南畑トシエ・綿屋ヒロ子・上石節子
- 【福祉啓発作文表彰】(小学生の部)
 - 最優秀賞 三股小6年 永盛桃子
 - 優秀賞 長田小5年 松山佳奈美
 - 優秀賞 三股小6年 有村麻奈美
- (中学生の部)
 - 最優秀賞 三股中3年 鶴島可奈
 - 優秀賞 三股中3年 繁昌亜弥
 - 優秀賞 三股中2年 谷山真由子

グラウンドゴルフで交流

約300人でにぎわう

町内の全児童館と町母親クラブ連絡協議会(会長 川崎政子)は、



10月23日、三股橋河川敷公園で「第6回三股町わんぱくグラウンドゴルフ大会」を開きました。児童の健全育成と交流を目的に実施しているもので、各児童館の呼び掛けによって集まった小学校児童219人と、母親クラブ56人、民生委員・児童委員などの関係者49人の合わせて324人が参加。1チーム約8人で編成し、31チームで競技を楽しみました。

閉会式では、低学年の部、高学年の部、それぞれ上位3人に賞状と記念品が贈られ、参加者から大きな拍手が送られていました。

田の神祭り、収穫祭!!?

子どもらが地域をパレード

餅原第3支部青壮年(新地国明理事、15人)は、10月31日、同支



部の収穫祭を行いました。過去5回、田植えを終えた時期に、反省会を兼ねた行事(さのぼり)を行っていましたが、今年は趣向を変えて実りの秋に開催しました。祭りは、田の神に扮した会員の杉野満さんをリヤカーに乗せ、子どもらが地域内を練り歩きました。一行は、最後に住民約60人が待ち構えた杉野さん宅で、温かい激励を受けた後、会員が作った豚汁やイモの掻き揚げ(がね)などをみんなと一緒に食べました。また、抽選会も行われるなど、楽しいひとときを過ごしました。

中学3年、最後の演奏

あざやかなハーモニイで魅了

三股中学校吹奏楽部(顧問 西浦都貴 部員59人)の第17回定期



演奏会は、10月24日、同校体育館で開かれました。同部の3年生にとっては、部員として最後の舞台で、緊張した雰囲気の中にも息のあった演奏を披露しました。中でも、スターウォーズ、ゴジラなどの映画音楽の迫力あるサウンドは、約300人の聴衆を魅了しました。同部の主将を務める下村洋介くん(5)は、「これまで3年間、部員一丸となってやってきた集大成を多くの人の前で披露できてうれしかった。後輩にはこれまで以上に頑張ってもらいたい」と感想を述べました。

日ごろの成果を披露

発表会に400人の観衆

町文化協会(会長 山元六男 70団体 会員約1,000人)は、



11月7日、町体育館で「第13回文化芸術発表会」を開きました。舞踊、歌謡、三味線、民謡、和太鼓など20団体、約200人の会員が練習の成果を披露、約400人の観衆から大きな拍手が送られていました。中でも、三股吟友会は、セリフを交えた舞台演出に合わせて、吟を詠む、構成吟を披露し、観衆の注目を集めていました。また、オープニングでは、元三股町長の故大河内利雄氏の詠んだ俳句も吟じられ、昭和30年ごろのどかな三股町が浮かんでくるようでした。

三股西小、環境美化表彰

リサイクル活動が評価

三股西小学校（西国原吉市校長 837人）は、食品容器環境美



手をたずさえて50年

金婚48組を祝う！

昭和24年以前に結婚し、50年以上を共に暮らした夫婦を祝おうと、



きれいな環境をつくろう

300人が河川のごみ拾い

町は、11月14日の早朝、三股橋下河川敷で、「クリーンアップみまた」を開催しました。



県内一斉で行う環境美化活動、「クリーンアップ宮崎」にあわせて行われたもので、個人や町内のボランティア団体、民主団体など26団体、合わせて約300人が参加しました。

化協会主催の環境美化教育実践優良校に選ばれ、このほど表彰されました。

県内3校のうちのひとつで、平成6年度から児童や職員、父母も含め、トレイや空き缶などの資源ごみの回収に取り組んだ成果が認められました。

11月8日、受賞報告に西国原校長らと町長室を訪れた同校6年の平野賢士くん(11)は、「これまでの活動が認められてうれしい。全校生みんなの励みになりました。これからも、みんなでリサイクル活動を頑張ります」と話しました。

町社会福祉協議会（会長 三股町長 桑畑和男）は、11月5日、都城市内のホテルで「第14回金婚式」を開きました。招待されたのは、山王原の原口利義さん(70)、順子さん(70)夫妻ら48組。当日は、39組が出席し、桑畑会長が「これからも、夫婦仲良く、いつまでも長生きしてください」とあいさつしました。その後、それぞれの夫婦に、祝い状と記念品が贈られました。また、祝舞や歌謡ショーなどのアトラクションが繰り広げられる中、盛大に懇親会が行われました。

ンで、空き缶、びん類、可燃物、不燃物に分け、リサイクルセンターと処分場に搬送しました。

梶山の久保ハルさん(70)は、「毎年参加しています。町をきれいにしようとする取り組みは、とてもよいことだと思います。しかし、一番大切なことは、みんながごみを捨てないことです」と話しました。

また、これにあわせて、5地区壮年クラブの6人と2地区壮年会の40人もそれぞれ地域内の不法投棄の回収を行いました。

三股町建設業協会（重久旭会長 51人）においては、13日の午前中、墓地公園下の用水路周辺の清掃作業を行い、不法投棄約7・5トンを回収しました。その中には、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、タイヤなどの粗大ごみもあり、関係者は一様に驚いていました。



よちよち赤ちゃん大集合

お母さんは悪戦苦闘

町は、11月12日、町健康管理センターで、「第1回赤ちゃん運動会」を開きました。子育ての保護



万に備えて

老人ホームで避難訓練

三股町養護老人ホーム「清流園」（谷山博園長 入所者47人）



は、11月9日、消防署、消防団、警察の協力のもと、火災避難訓練を行いました。午後7時30分、調理室から出火したとの想定で、当直者が通報し、消防署、町消防団の車両が急行、避難誘導と消火にあたりました。施設内に、2人が取り残され、消防署員が酸素ボンベを背負い、連携して救助する場面もあり、実践さながらの様相を呈していました。同園は、夜間に訓練を行ったのは、平成元年以来10年ぶりで、谷山園長は、「意義のある避難訓練でした」と話しました。

明るい家庭づくりに

ふれあい標語12人を表彰

町教育委員会は、11月3日、「親と子のふれあい標語」の優良作品の表彰式を「子どもの声を聞く会」にあわせて行いました。

標語の募集は、健全で明るい家庭づくりのために、平成6年度から毎年行っているものです。

今年も、応募多数の中から、小学生の部、中学生の部、一般の部に分けられ、厳選された結果、12点が優秀作品に選ばれ、それぞれの作者に賞状と図書券が贈られました。

優秀作品と作者（敬称略）

【小学生の部】

「おかあさん いっぱい おはなし しようね」

三股西小1年 小川 愛加



表彰を受けた皆さん

「夕ごはん わたしの日 教えてあげる」 三股西小2年 下沖 絢美

「ねえ お母さん こっちをむいて」 長田小3年 兒玉 愛弓

「会話が おかずの夕ごはん」 三股西小4年 久保田朝圭

「お母さん 毎日聞いてよ 今日のこと」 三股小5年 久保 雄飛

「ほかほかごはんに にこにこ笑顔 おかずはみんなの笑い声」 梶山小6年 細山田水穂

【中学生の部】

「親子の時間 何より大切な宝物」 三股中1年 新地 佳澄

「笑い声きこえる我家に幸多し」 三股中2年 平川ちほる

「どうしたの？ その一言で 救われる」 三股中3年 莫根 菜々

【一般の部】

「夕やけこやけ 家族の笑顔が そろそろ時間」 三股町蓼池 山下 弘子

「お帰り！」の一言に 笑顔添えて」 三股町蓼池 黒木さより

「顔合せ 会話をふやそう」 三股町餅原 乗峯 理也

「明るい家族」 三股町餅原 乗峯 理也

ボランティアグループ紹介

気づき、考え、実行する

都城東高等学校 青少年赤十字

都城東高等学校の青少年赤十字(J・R・C)は、将来を担う青少年が、赤十字活動に参加することにより多くの体験を通じ、日常生活の中で望ましい人格と精神をつくりあげ...



ちかいは わたくしは 青年赤十字の言葉と心身を強健にし人たる郷土社会の国家と世界の為に力を尽くします

全員が青少年赤十字の誓いの言葉を唱和して一日が始まります。主な活動は、各種の募金、献血、手話や救急法の勉強、各出身地区ごとの勤労体験などです。

なかでも、都城市の特別養護老人ホーム「白寿園」「中郷園」の車椅子整備や園内の清掃や除草等の活動は、昭和51年から毎月、第三土曜日に実施、20年以上続けています。

昭和三十二年には沖永良部島台風災害復旧に参加し、今でも記憶に残っています。

このような活動が認められ、総務庁長官表彰、厚生大臣表彰、県知事表彰、日本赤十字社長表彰等の表彰状や感謝状をいただきました。

※注JシニアR(レット)Cクロス

文芸三股

短歌(三股町短歌会)

空缶拾ひて汗ばむシャツも爽やかに 朝の奉仕にほほ笑む子供等

今村 良

夏休み、ボランティア活動の一環として、道路上の空缶拾いの様子を見ての一首です。日常は自分たちもポイ捨てなのかも知れないが(清掃)あとがきれいなった喜び、人のために役立つ事への満足感の表情も見てまじめました。また、「今後は君たちも捨てるなよ」と祈る思いもこめて。

己れのみ 落日の日々か 秋雲は 真白に遠く 季の移りゆく

岩崎 民子

風の音にも、流れる雲にも、季節は容赦なく過ぎてゆきます。もともとにぎやかなことが好きですが、夏に病み病後の私には、ひとしおさびしい秋でした。

俳句(三股椿寿俳句会)

新築の 槌音高く 小春空 菊谷 享代子

小春日のさわやかな日差しが注いでいます。

この近所には次々に新しい家が建ち、今日もその音が聞えます。その家を見るとき、つい中を拝見したくなり、拝見すると自分たちが建てた二十数年前を思い出して、感慨にふけるこのころです。

曇り日の晴れば鱗雲になり

前田 千代

昔から朝曇りは日の巣と、言われますが、その通りだなあと感じる様になりました。曇り空からゆっくりゆっくりと鱗雲になって、おだやかな日々が続く秋の日は大好きな気候です。

郷句(三股郷句)

蠅取り紙み 鼠なかつ 先の世い

茶坊

昔は各家庭には必ずと言っていいほどいた鼠。しかし今はほとんどいないはず。でもいるところにはいるらしい。蠅取り紙にかかったというのだから、子どもであろう。

不起訴なつ ミッチは歯がい 笑る

都城男

言っまでもなく、学歴詐称の問題である。 茶の間で話題になったはず。

わが家の一番星



東 あかねちゃん(2歳) 平成9年10月21日生まれ 東 浩司・めぐみさんの長女 (子供へのコメント) わが家の二番星が9月誕生しました。星のお姫さまたち姉妹仲良くキラキラ輝いてネ!



桑 畑 桃子ちゃん(1歳) 平成10年6月3日生まれ 桑畑育泰・美由紀さんの長女 (子供へのコメント) 毎日新鮮な驚きを与えてくれる桃子ちゃん。これからも楽しみにしているからね。仲よくしようね。

お便りやイラスト、お子様の写真を募集 「みんなの広場」では、皆さまからのお便りを募集いたしております。 ●町の声コーナー ふだんの生活で感じたことや皆さんへのお願い事などを四百字以内にお書きの上、お送りください。 ●イラストコーナー アニメのヒロインなどをハガキにお書きの上、お送りください。 ●わが家の一番星コーナー 3歳未満のお子様の写真とコメントを添えて直接役場にお申し込みください。 ●問い合わせ 役場総務課秘書広報係 ☎52-11111(内)2222

歳時記

冬木立 斧入れて 香におどろくや 蕪村

冬、落葉樹の葉が落ちて枯れ木のように見える場合は、季語では、枯木立などと言います。それに対して冬木立は、もう少し広い意味で、落葉樹、常緑樹を含めた冬の木立のことを言います。

冬木立

また、この時期「年末年始特別警戒及び航路標識の総点検」が行われます。カーフェリー、旅客船、遊漁船などの安全指導を行うとともに、船内の刑法犯の取り締まりや、航路標識の点検、指導などを実施します。



子どもたちのきえは「いま」

夢や希望を8人が発表



発表した8人の児童・生徒

町及び町教育委員会並びに町青少年育成町民会議は、11月3日、町表彰式に引き続いて、役場で「子どもの声を聞く会」を開きました。子どもの描く人間像や将来についての意見、家庭生活・学校生活・友人関係、郷土について、日ごろ考えていることを発表してもらい、今後の青少年の育成に生かしていこうというものです。今回は、町内の各小学校の児童6人と中学校の生徒2人が元気よく発表しました。会場には、町内の民主団体の代表や小・中学校長、PTA役員など約150人が出席し、真剣に聞き入っていました。今月号から3回にわたって、発表した作文を紹介いたします。

私の考えるボランティア



梶山小学校6年 鍋倉 加菜美

「ボランティア」とは、自分から進んで人や社会のために奉仕すること。
私は、以前は、「ボランティア」といったら、人のために何かしてあげることだと思っていました。しかし、苦しんでいるのは、人間だけではありません。

でした。私たちと一しょに生きている木や草花、鳥や動物といたすすべての生き物が、今、苦しんでいるようにも思えます。ふと気が付くと、美しかった自然も少しずつ以前の様子とちがってきています。たくさんのごみで、川や山、木や草花が、いじめられた人間のように苦しみ、悲痛なさげび声をあげているように感じることがあります。（どうして人は、簡単に自然をこわしてしまうのでしょうか。）
（どうして人は、何も考えないで、ごみを捨てたりするのでしょうか。）
取り返しのつかない状態になって

私たちの梶山小学校でも、学期に一回「クリーン作戦」を実施しています。一年生から六年生まで、集団下校の班で、ごみ袋と軍手を準備し、自分たちの地区のごみを拾いながら下校するのです。拾ったごみは、燃やせるごみ、燃やせないごみ、リサイクルできるごみ、危険物に分けて持ち帰ります。

美しい自然に囲まれた私たちの町「三股町」でも、たくさんのごみが落ちていくのです。それは、落とす人がいるということと、悲しい事実です。自分たちの町を自分たちの手でよこしているのです。

三股町に住んでいる一人ひとりの子どもが、そして一人ひとりの大人が、ごみを落とさない気持ちを持ち、自分たちの手で町を本当にきれいにしようという気持ちを持ったならば、日本一きれいな町になるでしょう。
私の考える「ボランティア」は、このほかにいくつもあります。

例えば、お年寄りの方に席をゆずってあげる。困っている人にやさしく声をかけてあげる。

廃品回収などの地域の行事に進んで参加するなどです。

「ボランティア」とは、思いやりの心から、やさしさから人や自然のためにする行動。一人ひとりの心がけしだいであること。私たちの町「三股町」に住む一人ひとりの心の中に、この「ボランティア精神」がやどったならば、日本一美しい町、日本一住みやすい町になるにちがいありません。
私は、これからも小さな「ボランティア活動」から始め、友達と協力しあって少しずつその輪を広げていきたいと考えています。

私はこんな人になりたい



宮村小学校6年 菊地 正子

私は、みんなにみとめられる人になりたいといつも考えていますが、実際に実行したことは、ほとんどありません。それは、

めんどうだなとか、自分ではぜったい出来ないとかと決めつけてしまっていたからです。だから私は今から、この作文に書いていくことを、実現できる様にがんばっていきこうと思います。
まず一つ目は、人の気持ちに分かる人になりたいと言うことです。理由は、人の気持ちも考えずに、その人のかみを引っぱったり、その人の背中を思いっきりぶつたりして、いやがられたり、口を聞いてくれないかたたりするのを見て、自分がいやな気持ちになったことが、何回となくあったからです。人からされてうれいことは、私もそうしてあげたいなと思います。いやなことは、自分だっただろうと思うか一歩立ち止まって、考えてせつしたいと思います。だから私は、人のいたみや悲しみ分かる人になり、なりたいと思ったのです。他人の気持ちが分かる様になるためにはまず何をやる時にも、一人ひとりの立場になって考えることだと思えます。それは、他人のことを考えて行動する第一歩だと思うからです。

二つ目は、何にでも最後まで努力する人になりたいと言うことです。理由は、私は何でも途中であきらめてしまう所があるからです。例えば、一日英語を三つずつ覚えると言う目標も、三日坊主にもならず一日でやめてしまったり、歯みがきを毎日しようと思っても、時々やらなかったり、まだいろいろとあります。友達を作るとか、家の手伝い、それから勉強もですが、何でも一つのことを始めようと思うたら、最後までやりとげようという気持ちを強くもつことが大切です。努力することは、やっていると目が見えなくて、とてもむずかしいことです。でも、自分自身があきらめずがんばれば、努力は必ずいい結果として、自分に返って来るものだと思います。

最後に、どこでも礼儀正しく出来る人になりたいと言うことです。そのわけは私は、人前に出ても、行儀良くしないことが多いからです。ほかにもたくさんあります。家にお客さんが来ても、あいさつをしないで通り過ぎて行ったり、目上の人に対して、ほとんど敬語を使わなかったりと、いろいろあります。私は礼儀正しくしなければいけないと思った出来事がありました。それは小ざき集での空き缶集めの時、私が行った家の人に向かって、
「空き缶かい集にきました。空き缶をください、おねがいします。」
と自分では、ふつうに言ったつもりだったけど、その家のおばさんからおこられてしまいました。その時は、ムカツ！ときたけど、今思うと自分のたのみ方が悪かったんだなと思います。こんな風に、少しずつでも反省をしていけば本当に、礼儀正しく出来る様になると思います。少しでも自分を変えていこうと思えば、実行していけば、出来ないことも、出来る様になると思います。

図書室 だより

NO.139 BOOK

おすすめの1冊 ~ぜひ1度読んでみては~



【一般向】
振りそで着つけと結び百科
講談社
卒業式のはかまの着付けから花嫁さんや舞妓さんの着付けと帯結び、雅びやかな十二単の着装など伝統の着付けや帯結びのほか、新感覚のゆかたの着付けや帯結びについても写真入りで手順を紹介する。



【一般向】
八月のマルクス
新野剛志
ライブ・スキャンダルで、私はお笑い芸人を引退した。5年後、余命わずかな相方の失踪が、過去を甦らせる…。現代の放浪作家が人生を賭けたサスペンス小説。第45回江戸川乱歩賞受賞作。



【児童向】
大どろぼうのさくさくサラダ
草間俊行 絵、山脇恭作
あらまー市なんだろ町のめいぶつたべものやさん12人は、みな元大どろぼう。今日は、太ってこまっているあまりさんのおくさんと、くろぼしじゅんさんのために、スマートになるサラダづくりをしよう。あなたもつくってみて。

漢字クイズ

今回は長崎県の町名を集めてみました。次の漢字はなんと読むでしょうか。

- ①千々石(町) ②生月(町) ③宇久(町)
④西彼(町) ⑤野母崎(町)

答え・住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、下記までお送りください。図書室からも応募できます。

(宛先)
〒889-1902
三股町五本松8-1
三股町中央公民館図書室まで

*締切りは12月26日到着分までとさせていただきます。

- 10月号の答え
①安心院(あじむ)(町) ②天瀬(あまがせ)(町)
③国東(くにさき)(町) ④野津原(のつはる)(町)
⑤日出(ひじ)(町)

記念品の当選者は次の方々です。
大重クニ子様、上蘭マサ子様、田中悦様、
福永京子様、重久達樹様
24通のご応募をいただきました。ありがとうございました。

12月の休館日
1日、6日、7日、13日、14日、19日、21日、23日、
27日~31日

1月の休館日
1日~5日、9日~11日、16日、18日、24日、25日、31日

返本ポストの利用について
年末年始の休館中(12月27日~1月5日)は利用できません。
ご了承ください。

私と図書館

No.26



山元 正一さん

今回は、東原にお住まいの山元正一さん(66)を訪ねました。

Q 山元さんにはよく図書室を利用していたらいいと思いますが、きっかけは何でしょうか。

A 私は、歴史や時代小説が好きで、本屋さんで購入して読んでいました。新聞の新刊紹介の欄などを見ると欲しくなり、つい買ってしまいましたが、一回読むともう読まなくなりました。家に本がいっぱいになりました。それで、以前仕事で日向日向にいたころから図書室を利用するようになりまし

た。三股の図書室を利用するようになったのは、以前やって来ていた県立図書館の「やまびこ文庫」(移動図書館)の本を借りて読むようになったのがきっかけでした。今は、休日の前にはたくさん借りた

りと自分のペースで本の作者の人物像を描きながら読んでいます。

Q どんな本がお好きですか。

A やはり歴史や時代ものが好きですね。

Q これからの図書館に望まれることはどんなことでしょうか。

A 図書室で本を読みながら過ごす時間は、1時間でも3時間に値するほど私には貴重です。子どもさんが多い時はどうしてもにぎやかになりますので、防音等を少し考えていただいて、静かに読書に集中できるスペースがほしいですね。あと、鹿児島県の曾於郡は都北地区と同じ生活圏です。宮日新聞では情報が伝わってこないの、新聞も少し充実させて欲しいと思います。



介護保険だより No.9

●相談したいこと、わからないことがあったら

高齢者へのサービスや、介護保険について相談したいことや、わからないことがあったら遠慮なく下記までご相談ください。

- 三股町役場 福祉保健課 (52-1111 三股町五本松1-1)
- 三股町在宅介護支援センター (52-8634 町立病院敷地内)
- 三股町北部在宅介護支援センター (52-8455 三光苑内)

●気をつけてください!

- ・申請受付は役場で行います。公民館では行いません。
- ・現在元気で、自分のことが何でもできる方は、申請する必要はありません。必要になったときに申請してください。
- ・来年4月以降、何らかのサービスを希望される方のみ申請してください。
- ・65歳以上の方すべてに、2月ごろ介護保険証が郵送されます。
- ・他の県で、介護保険がらみの詐欺事件が起こっています。3月までお金を出すようなことはありません。

●老人クラブ評議委員会で説明会を実施

町は、介護保険制度について、認識を深めてもらおうと、10月28日、町老人福祉センターで開かれた町老人クラブ評議委員会で、説明会を行いました。

約60人の参加があり、申請手続きや認定、保険料、自己負担のことについて説明を行い、参加者は真剣に聞き入っていました。



黒板を使って説明する担当職員

※介護保険に関するお問い合わせは、福祉保健課高齢者福祉係 介護保険準備室(役場3階)
TEL 52-1111 内線372番

